

令和6年8月23日

常総市立水海道中学校 不祥事防止に向けた取組

常総市立水海道中学校長

本校では、以下のような対策のもとサービス規律確保を図ります。

1 目的

年間を通して継続的に校内研修を行うことにより、不祥事への当事者意識を醸成し、学校全体で不祥事の根絶を図るものとする。

2 校内コンプライアンス委員会

教頭、若手教員（5年次以下の教諭、講師）により組織する。

3 コンプライアンス研修年間計画

月	研修内容	担当者
4月	研修の意義，教職員のサービス規律，教職員の懲戒処分について 校内規定(危機管理マニュアル)，未然防止のためのチェックポイント	校長 教頭
5月	公金等の不正処理等の根絶に関する研修 全体協議→グループ協議→全体共有	教頭 学校主査
6月	飲酒運転の根絶に関する研修 全体協議→グループ協議→全体共有	推進員 (1班)
7月	わいせつ行為等の根絶に関する研修 全体協議→グループ協議→全体共有	推進員 (2班)
8月	公費、私費の不正に関する研修 全体協議→グループ協議→全体共有	推進員 (3班)
9月	ハラスメントの未然防止に関する研修 全体協議→グループ協議	推進員 (4班)
10月	体罰・不適切な指導の根絶に関する研修 全体協議→グループ協議→全体共有	推進員 (5班)
11月	個人情報漏洩・紛失・盗難の未然防止に関する研修 全体協議→グループ協議→全体共有	推進員 (1班)
12月	交通事故・違反防止に関する研修 全体協議→グループ協議→全体共有	推進員 (2班)
1月	アンガーマネジメントの研修 全体協議→グループ協議→全体共有	推進員 (3班)
2月	教職員の不祥事防止に向けて 全体協議→グループ協議→全体共有	推進員 (4班)
3月	今年度の研修の反省 次年度に向けての計画	推進員 (教頭)

#### 4 主な施策

##### (1) 「One IBARAKI」の活用

毎月、県教育委員会から発行されている「One IBARAKI」を校内研修で活用する。

##### (2) 校内環境の整備

- 風通しのよい職場づくりを目指し、教職員の人間関係を構築することに努める。
- 不審な物が置かれないように、常に教室や更衣室、トイレ等の整理整頓に努める。

##### (3) 飲酒運転防止

飲酒運転を絶対させないために歓送迎会や懇親会等の飲酒の機会がある時は、必ず「飲酒運転プリバンダー」を活用し、飲酒運転の防止を図る。

##### (4) 3ない運動+4：合い言葉「たいせつですね」の徹底

<b>た</b> (体罰、暴言)	<b>体罰は指導にはなりません。</b> 「フレミングの法則」生徒に中指を立てられ…講師が激怒し暴力「米国なら殺されるぞ」と暴言(新聞の見出し)子どもたちの言動に、カッとせず、冷静な対応が必要です。
<b>い</b> (飲酒運転)	<b>歓送迎懇親会・GW・年末年始</b> 気が緩みやすい時期です。アルコールは、体に影響を及ぼす物質であることを認識してください。見つからなければ、隠し通せると思っても脳や体がそうできないことがあります。
<b>せ</b> (セクハラ、わいせつ)	<b>相手意識・道義的問題</b> 児童生徒に対しては言語道断です。しかし、大人同士の場合、冗談などと軽視してしまうことはありませんか。でも「そんなつもりではなかった」ではすみません。知らず知らずに誰かを傷つけているかもしれないことを認識しておきましょう。
<b>つ</b> (遣い込み)	<b>後で補填しておけば…</b> 「ほんのちょっとだから」「後で補填すればいいから」などの軽い感覚がのちに大きなことにつながります。お金は、少額であっても信頼関係を壊すものになります。
<b>で</b> (データの漏洩)	<b>学校にはたくさんの個人情報</b> 人間を預かっている職業であるからこそ個人情報を扱うことを避けて通るわけにはいきません。ちょっとしたヒューマンエラーがもとになることが多いです。
<b>す</b> (スピード違反)	<b>ハンドルを握ると…</b> 道路では法定速度を守って走っている方が少ないとみえることもあります。でも、ルールはルール、危険だからあるルールです。しっかり守りましょう。
<b>ね</b> (ネット犯罪、SNS)	<b>有益な情報もありますが、匿名性が怖い</b> ブログ、Twitter、Facebook などSNSは情報量や即時性の点から利便性は確かにあります。でも匿名性があることから、うっかり投稿してしまうケースがあります。一度、流れた情報はデジタルの世界では、回収は不可能であることを認識しましょう。